

京極読書新聞 <第4号>

発行日 平成21年 7月 1日(水)
京極町生涯学習センター湧学館

「我輩は猫である」 京極町立京極中学校教諭(国語科) 山本雅博 (やまもと・まさひろ)

中学校で暗唱に取り組んでいます。『中学生のための暗唱詩文集』という教材には中学生ならばぜひ暗唱したい名文詩文が51詩文載っています。「月の異名」「十二支」「いろは歌」などに始まり、「初恋」「山のあなた」「舞姫」「たけくらべ」「羅生門」といった近代の名文。古典、漢文。「雨二モ負ケズ」「白波五人男」「源氏物語」といった長い文章まで。中学生は一つ一つと暗唱していきます。51詩文すべて暗唱する生徒も毎年増えています。最短記録は70日。大人だってなかなかできるものではありません。

51の詩文の中でも中学生がとりわけ好んで暗唱する名文詩文は何だと思えますか？

「吾輩は猫である」です。現代の中学生が好んで暗唱するのは、意外にも、明治の文豪夏目漱石の処女作。「吾輩は猫である。名前はまだない…」あまりにも有名な冒頭文。

中学の英語教師苦沙弥先生の家に来る明治の文化人たち。その人間たちを苦沙弥先生に飼われている猫がバッサバッサと辛辣に批評していきます。猫の批評の切れ味は抜群。文明社会を風刺したユーモアあふれる長編小説です。

その夏目漱石の『吾輩は猫である』の結末はどうなるか知っていますか？

なんと、猫の最期なのです。

またその姿がおもしろおかしい。苦沙弥先生の家遊びに来た三平君。三平君はビールに興じています。猫はそのビールに関心を抱きます。「どうやら飲むと気分が良くなるという三平君のビール。何でも命のあるうちしておく事だ。思い切って飲んでみる」と、ひとなめしてみるとピリとする。人間はなんでこんなものを

好んで飲むのだと思いながらも、ちびりちびりやっているうちに一杯やつけた。さらにもう一杯。二杯片付けた頃には猫もすっかり上機嫌。「次第にからだは暖かになる。目のふちがぼうっとする。耳がほてる。歌が歌いたくなる。猫じゃ猫じゃが踊りたくなる。主人も何も糞を食らえという気になる。金田のじいさんを引っ掻いてやりたい。細君の鼻を食い欠きたくなる。いろいろになる。最期にフラフラと立ちたくなる。立ったらよたよた歩きたくなる。こいつは面白いと外へ出たくなる。出ると、お月様今晚はと挨拶したくなる。どうも愉快だ。」

その後、この猫。気がつくとき水の上に浮いています。水瓶の中へ落ちてしまい、ここそのまま死ぬのも悪くはないと思う始末。「南無阿弥陀仏南無阿弥陀仏。ありがたいありがたい」と猫。あつけない最期なのです。

只今わが家では、家人と本を取り合いながら『吾輩は猫である』を読んでいます。

夏休みは名作を楽しむのもいかがでしょうか？



6/9 京極中学校 出前図書館



京極読書新聞は
毎月1日発行です。



中学生にこの一冊!

◆ J・R・R・トールキン 「指輪物語」

この本は、ファンタジー小説の元祖、「ドラクエ」等のRPGゲームの元になっていると言われていました。

ホビットと呼ばれる小人族のフロドが世界を滅ぼすほどの魔力を持った指輪を捨てに行く旅の話です。途中、他の種族(エルフ・ドワーフ・人間等)と出会い仲間となり一緒に旅を続けていきます。

困難を極め辛くて掛けそうになりながら進むフロドを、最初は種族同士でいがみあっていた仲間もみんなの共通の敵を倒す為に助け合いながら戦います。

どんなに辛くても諦めずに自分に託された使命を果たそうとするフロド。そんな彼を自分を犠牲にしても助けようとする仲間たち。。

最後まで諦めない強さをフロドから、相手を思う気持ちを旅の仲間から、そして強大な力を求める欲望の怖さを指輪から教えられます。

RPGゲームのようにそれぞれの登場人物に自分をあてはめて読んでみるのもいいかも。

湧学館 打越 靖子(うちこし・やすこ)

◆ オー・ヘンリー 原作「漫画で蘇るO・ヘンリー傑作選」 ◆ 「オー・ヘンリー ショートストーリーセレクション」 全8巻

病床の女の子が窓の外を見て「あの最後の1枚の葉が落ちたとき、私は死ぬんだわ…」というシーン。オー・ヘンリーの名前に「？」と思っても、この場面を知っている人は多いのではないのでしょうか。

オー・ヘンリーは世界の短篇王ともいわれ、「漫画で蘇る～」では『最後の葉』のほか6編が漫画化されています。アメリカを舞台にした『警官と賛美歌』という原作が、『岡っ引きと子守唄』という江戸時代の日本の話に…と変えられているものもありますが、内容はほぼ原作どおりです。

各作品には齋藤孝さんの解説があり、作品の楽しみ方や原作との違いなどが分かりやすく説明されています。短いながらも心あたたまる各作を、漫画と原作と両方でお楽しみください。

湧学館司書 向出 絵梨香
(むこうで・えりか)

平成21年度「出前図書館」が始まりました



6/4 京極小学校

去年度の京極中学校開催を発展させ、今年度は、小学校2校も新たに追加しました。開催回数も飛躍的に増えています。それぞれの学校の規模(生徒数など)に合わせ、出前図書館の内容もさまざまな趣向をこらしています。

現在、出前図書館を手伝ってくれるボランティアを募集中です。話しべただから…、声が小さいから…、そんな心配はご無用です。子どもの笑顔に、たいていの不安は吹きとびますよ。



6/18 南京極小学校

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京極町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

